

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	地域の利用者のニーズに即したサービス提供に努め、利用者本位の事業運営を行っている
	内容	事業所は利用者ニーズに即したサービス提供を理念としており、地域に不足しているサービスを提供するために、生活介護事業を始めとして就労継続支援B型、グループホーム、ショートステイなどの事業を順次整備してきた。また、GHやショートステイなどにおいては、地域に受け入れ先の不足している重度者を優先的に受け入れており、とりわけ、グループホームにおいては必要度の高い人に使ってもらうなど、事業職員の設置目的が明確であり、地域にとって必要不可欠な機能と役割を担っている。
2	タイトル	重度の利用者や、家庭の事情等により必要度の高い利用者を積極的に受け入れており、職員が一丸となって利用者・家族を支えている
	内容	短期入所の利用者の中には身体障害や重複障害の利用者など、重度の方も少なくない。身体的な介助においても、知的障害や精神障害の支援においても、高度な内容が職員に求められている。また、利用者を選べる立場であるにもかかわらず、入居せざるえない家庭的な事情等を第一に考えて利用を決定している。地域の中で支援を必要としているより多くの方に利用して欲しいという、施設の方針に努めている。職員も常勤職員だけでなく、非常勤職員を含む多様な構成であるが、情報共有を充実させて一丸となって利用者・家族を支えている。
3	タイトル	地域の動向把握に注力しており、地域に根付いた施設として、自治会との関係づくりや地域貢献に積極的に取り組んでいる
	内容	地域の教育や防災等の課題を検討する地区委員会への参加、特別支援学校との情報交換会への参加、地域の福祉施設や社会福祉協議会と協働で開催している地域支援会議へ参画するなど、地域の動向把握に注力している。また、地域との関係づくりに積極的に取り組んでおり、地元の自治会や地区委員会に施設を貸し出したり、夏祭りにも参加している。職員と利用者が地域清掃を行うなど、地域に根付いた施設としての活動を継続している。近隣の高齢者福祉施設などと協働で、高齢者の買い物支援に関する取り組みも進めており、さらなる展開が期待できる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	複雑な勤務形態の改善につながる各事業における働き方について、職員参加の下で検討を進めていくことが期待される
	内容	法人では、新規事業の開始が相次いだこともあって職員の勤務形態の複雑化が課題となっている。短期入所やグループホームの宿泊勤務の応援に日中活動の事業から職員が派遣されており、職員自己評価でも改善への要望が挙げられていた。一方、職員の休暇希望についてはほぼ100%を満たすなど、働きやすさへの配慮も欠かしていない。今後は、短期入所での宿泊専門職員を増やすための方策や、日中活動事業の利用者数を増やして職員配置を増やすことなど、職員の負担軽減につながる各事業のあり方を職員参加の下で検討し、実践していくことに期待したい。
2	タイトル	事業所の知名度や提供サービス周知のために、日常の活動をさらに活用する取り組みに期待したい。
	内容	事業所では、B型事業所や短期入所などでの新たな利用者の獲得、スタッフ不足の改善と人材の育などの課題を解決するために、広報活動の充実が課題となっている。現在、ホームページを充実するための取り組みを行っていることから、その効果が期待される。また、広報誌やホームページに留まらず、事業所周辺の美化パトロールの実施時に事業所の名前を記したユニフォームを着用するなど、日々の活動をそのまま事業所のPR活動として積極的に取り組むような試みが期待される。
3	タイトル	短期入所の空床の解決のため、既存の利用者だけではなく、新規の利用者の確保が課題である。
	内容	現在、短期入所では2か月前から利用の予約を受け付けており、空床発生が予想される場合は、利用登録者に対してメールの一斉送信を行うなどして空床がないように努めている。短期入所の空床は、一回の利用期間が短く、また、利用が特定の期間に偏在しているという構造的な問題からも生じている。そのため、既存の利用者だけではなく、現状では法人の事業所を利用していない新規の利用者に対して短期入所の積極的な利用を働き掛けるような方策が課題である。